

**新規採用常備医薬品等のお知らせ**

令和7年9月5日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和7年10月1日（水）からオーダーを開始します。

「ジクアス点眼液 3%」オーダー一時開始（院外処方限定）のおしらせ

ドライアイ治療剤「ジクアス LX 点眼液 3%」につきまして、全ロットが自主回収となり、2024年5月23日よりオーダーを一時停止しております。

同成分の「ジクアス点眼液 3%」につきましても、同時期に限定出荷となり代替薬としての使用ができない状況となっております。

この度、「ジクアス点眼液 3%」の購入が可能となったため、処方オーダーを2025年8月21日より開始（院外処方限定）しました。

なお、「ジクアス LX 点眼液 3%」の供給が再開された際には、「ジクアス点眼液 3%」の処方オーダーを停止します。

【用法・用量】（点眼回数の違いに注意）

・ジクアス点眼液 3%

通常、1回1滴、1日6回点眼（LXは1日3回）

**「ナファモスタットメシル酸塩注射用 50mg」
2銘柄（「AY」および「NIG」）併存終了のお知らせ**

蛋白分解酵素阻害剤『ナファモスタットメシル酸塩注射用 50 mg 「AY」』につきまして、供給量が減少したことから、院内の使用量を賄うために2024年5月10日より2銘柄を併存させておりました。

このたび、『ナファモスタットメシル酸塩注射用 50 mg 「AY」』の安定供給の確認がとれたため2025年8月22日より『ナファモスタットメシル酸塩注射用 50 mg 「NIG」』の使用を終了しました。

<ナファモスタットのオーダー名と使用場所>

【2025年8月22日以降】

ナファモスタット 「AY」 → すべての病棟および診療科

ナファモスタット 「NIG」 → 使用終了

「注射用 GHRP 科研 100」添付溶解液廃止のお知らせ

成長ホルモン分泌不全症診断薬「注射用 GHRP 科研 100」につきまして、添付溶解液の同梱が廃止となります。

この度、添付溶解液付き「注射用 GHRP 科研 100」の院内在庫が消尽したため、本剤の処方オーダー時は溶解液として生理食塩液の処方オーダーを別途追加してください。

ヘパリン類似物質外用液0.3%の一般名コード変更のお知らせ

この度、厚生労働省連絡「処方箋に記載する一般名処方の標準的な記載(一般名処方マスタ)について(令和7年8月14日適用)」により、令和7年8月14日適用でヘパリン類似物質外用液 0.3%製剤の「基剤の種類」の違い(乳剤性、水性)によって一般名コード及び一般名処方の標準的な記載が変更となりました。

これにより、今まではヘパリン類似物質外用液 0.3%製剤において、基剤が異なる製剤への変更(先発→後発、後発→後発)をする場合には疑義照会が不要でしたが、令和7年8月14日より、基剤が異なる製剤への変更は疑義照会が必要となります。

基剤の種類		製品
乳剤性 (水中油型)	準先発品	ヒルドイドローション 0.3%
	後発品	ヘパリン類似物質ローション 0.3%「N I T」
	後発品	ヘパリン類似物質ローション 0.3%「ラクール」
水性	後発品	ヘパリン類似物質ローション 0.3%「YD」
	後発品	ヘパリン類似物質ローション 0.3%「ニプロ」
	後発品	ヘパリン類似物質ローション 0.3%「ニットー」
	後発品	ヘパリン類似物質ローション 0.3%「日医工」

「ソル・コーテフ注射用100 mg」他国向け製剤の一時的な出荷のお知らせ

ソル・コーテフ注射用 100 mg につきまして、限定出荷の状況が続いております。現在国内に流通している製品は米国製ですが、米国製の従来品(以下、既承認 100 mg 製剤)の供給が再開されるまで一時的に他国へ供給しているベルギー工場で製造された製品(以下、他国向け 100 mg 製剤)が供給されます。両剤間で組成・性状(添加物)が異なりますが、製品の安全性・有効性への影響はありません。

	既承認 100 mg 製剤	他国向け 100 mg 製剤
製品名	ソル・コーテフ注射用 100 mg	同一
製剤製造所(国)	米国	ベルギー
有効成分及び分量 (1 バイアル中)	日局ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム 133.7 mg (ヒドロコルチゾンとして 100 mg)	同一
添加物	無水リン酸二水素ナトリウム 無水リン酸一水素ナトリウム pH 調節剤	リン酸二水素ナトリウム一水和物 無水リン酸一水素ナトリウム pH 調節剤
pH	7.0~8.0	同一
浸透圧比	約 1 (生理食塩液に対する比)	同一
効能又は効果	詳細は添付文書をご確認下さい	同一
用法及び用量	詳細は添付文書をご確認下さい	同一
残液の取り扱い	溶解後はなるべく速やかに使用すること。 なお、保存する場合でも 24 時間以内に使用すること。	同一
包装	溶解液(日局注射用水 2mL)を添付	同一
バイアルキャップ	バイアルキャップの色: 黄色 バイアルキャップ: 文字なし	バイアルキャップの色: 同一 バイアルキャップ: 「FLIP OFF」の表示
コード類	統一商品コード: 114-78720-0 GS1 コード 調剤包装単位: (01)04987114787095 販売包装単位: (01)14987114787207 薬価基準収載医薬品コード: 2452400D1084	同一

販売中止のお知らせ

◎ルブラック錠 4 mg(一般名:トラセミド)＜ループ利尿薬＞

販売中止時期：2026 年 3 月（予定）

経過措置期間満了日：2027 年 3 月末日（予定）

◎ルブラック錠 8 mg(一般名:トラセミド)＜ループ利尿薬＞

販売中止時期：2026 年 7 月（予定）

経過措置期間満了日：2027 年 3 月末日（予定）

◎キンダベート軟膏 0.05%(一般名:クロベタゾン酪酸エステル)＜外用合成副腎皮質ホルモン剤＞

販売中止時期：2025 年 12 月頃

経過措置期間満了日：2026 年 3 月末日（予定）

◎デルモベートクリーム 0.05%(一般名:クロベタゾールプロピオン酸エステル)＜外用合成副腎皮質ホルモン剤＞

(※院外専用医薬品)

販売中止時期：2025 年 12 月頃

経過措置期間満了日：2026 年 3 月末日（予定）

限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡いたします。

◎乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」(一般名:乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン)＜ウイルスワクチン類＞

出荷量：C. 出荷停止

製造販売業者の対応状況： ⑤供給停止

◎ビスサイン静注用15 mg(一般名:ベルテポルフィン)＜加齢黄斑変性症治療剤＞

出荷量：B. 出荷量減少

製造販売業者の対応状況： ④限定出荷（自社の事情）

◎キシロカイン注射液「0.5%」エピレナミン(1:100,000)含有、「1%」エピレナミン(1:100,000)含有、キシロカイン注射液「2%」エピレナミン(1:80,000)含有(一般名:リドカイン塩酸塩・アドレナリン)＜局所麻酔剤＞

◎ハイキュービア 10%皮下注セット 5g/50 mL、20g/200 mL(一般名:pH4処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)・

ポリヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え))＜血漿分画製剤＞(※臨時採用医薬品)

出荷量：A. 出荷量通常

製造販売業者の対応状況： ②限定出荷（自社の事情）

【参考情報】日薬連発第 297 号 『医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について』
DI-EXPRESS (2022. 7) の「限定出荷等のお知らせ」からも確認可能

限定出荷等解除のお知らせ

◎1%ディプリバン注-キット(50 mL)(一般名:プロポフォール)＜全身麻酔・鎮静用剤＞

2025 年 8 月 25 日より限定出荷解除

◎パルミコート吸入液 0.25 mg、0.5 mg(一般名:ブデソニド)＜吸入ステロイド喘息治療剤＞

◎シムビコートタービュヘイラー60 吸入(一般名:ブデソニド・ホルモテロールフマル酸塩水和物)

＜ドライパウダー吸入式喘息・COPD 治療配合剤＞

2025 年 8 月 1 日より限定出荷解除

販売名変更のお知らせ

変更前		変更後	旧販売名製品の経過措置満了日
セフカペンピボキシル塩酸塩錠 100 mg 「SW」	→	セフカペン ピボキシル塩酸塩錠 100 mg 「SW」	2026 年 3 月 31 日

効能・効果、用法・用量等追加のお知らせ

※追加部抜粋、下線部改訂

◎シルガード9水性懸濁筋注シリンジ(一般名:組換え沈降9価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン)

＜ウイルスワクチン類＞(※自由診療医薬品)

【効能・効果】肛門癌(扁平上皮癌)及びその前駆病変(肛門上皮内腫瘍(AIN) 1、2及び3)

【用法・用量】すべての適応において

9歳以上の者に、1回0.5 mLを合計3回、筋肉内に注射する。通常、2回目は初回接種の2ヵ月後、3回目は6ヵ月後に同様の用法で接種する。9歳以上15歳未満の者は、初回接種から6～12ヵ月の間隔を置いた合計2回の接種とすることができる。(※接種対象が男性にも拡大)

◎オプジーボ点滴静注20 mg、240 mg(一般名:ニボルマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体)＞

【効能・効果】治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌

【用法・用量】イピリムマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240 mgを3週間間隔で4回点滴静注する。その後、ニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240 mgを2週間間隔又は1回480 mgを4週間間隔で点滴静注する。

がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌に対して、ニボルマブ(遺伝子組換え)を単独投与する場合は、通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240 mgを2週間間隔又は1回480 mgを4週間間隔で点滴静注する。

◎ヤーボイ点滴静注液50 mg(一般名:イピリムマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(ヒト型抗ヒトCTLA-4モノクローナル抗体)＞

【効能・効果】治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌

【用法・用量】ニボルマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはイピリムマブ(遺伝子組換え)として1回1 mg/kg(体重)を3週間間隔で4回点滴静注する。

◎ドブテレット錠20 mg(一般名:アバトロンボパグマレイン酸塩)＜トロンボポエチン受容体作動薬＞(※院外専用医薬品)

【効能・効果】持続性及び慢性免疫性血小板減少症

【用法・用量】通常、成人には、アバトロンボパグとして初回投与量20 mgを1日1回、食後に経口投与する。投与開始後、血小板数、症状に応じて用法・用量を適宜調節する。また、最高投与量は40 mgを1日1回とする。

◎エンハーツ点滴静注用100 mg(一般名:トラスツズマブ デルクステカン(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(抗HER2抗体 トポイソメラーゼⅠ阻害剤複合体)＞

【効能・効果】ホルモン受容体陽性かつHER2低発現又は超低発現の手術不能又は再発乳癌

【用法・用量】通常、成人にはトラスツズマブ デルクステカン(遺伝子組換え)として1回5.4 mg/kg(体重)を90分かけて3週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。

有効期間変更のお知らせ

◎ブリカニール錠 2 mg(一般名:テルブタリン硫酸塩)＜気管支拡張剤＞(※院外専用医薬品)

有効期間:3年 → 4年

退院時の薬の渡し忘れにご注意ください

退院時には、退院処方や頓服薬、持参薬の余りなど患者さんに渡す薬剤が複数ある場合があります。退院後も継続的な薬物治療を行うためにも、薬剤の渡し忘れにご注意ください。

適正使用のお願い

◎エンハーツ点滴静注用100 mg(一般名:トラスツズマブ デルクステカン(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(抗HER2抗体 トポイソメラーゼⅠ阻害剤複合体)＞

1. エンハーツ点滴静注用投与時の留意事項

本剤の投与により 重篤な間質性肺炎(以下、「ILD」) があらわれ、死亡に至った症例が報告されているので、呼吸器疾患に精通した医師と連携して使用してください。本剤投与開始前及び投与中は、臨床症状(呼吸困難、咳嗽、発熱等)の確認、定期的な動脈血酸素飽和度(SpO₂)検査、胸部 X線検査及び胸部 CT 検査の実施等、観察を十分に行ってください。異常が認められた場合には投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行ってください。

本剤の投与にあたっては、本剤の最新の電子添文、及び本剤の適正使用ガイドを熟読し、内容をご理解ください。

2. 使用条件の設定

電子添文の記載に基づき、本剤は緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与されることとなります。また、ILD を早期発見し重症化を防ぐために、投与期間中にわたり、初期症状の確認や定期的な SpO₂ 検査、胸部 X 線検査及び胸部 CT検査の実施等が重要となります。さらに、ILD の診断及び治療においては、呼吸器疾患に精通した医師との連携が重要となります。

これらの状況を踏まえ、本剤の適正使用の推進を徹底するために、委員会と製薬企業で協議を行い、その結果に基づき以下の施設要件、医師要件を自主的に定め、本剤の使用条件を設定しております。

ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

包装変更等のお知らせ

◎ヘムライブラ皮下注60 mg、90 mg、105 mg、150 mg(一般名:エミシズマブ(遺伝子組換え))

＜血液凝固第Ⅷ因子機能代替製剤＞(※60 mg、90 mg、150 mgは臨時採用医薬品)

注射針の外袋を廃止



※注射針の品質には影響はございません。

◎ドキシル注20 mg(一般名:ドキソルビン塩酸塩)＜抗悪性腫瘍剤＞

バイアルサイズを変更

従来品) 高さ: 48.0 mm、直径: 23.8 mm

変更品) 高さ: 45.0 mm、直径: 24.0 mm

◎アコアラン静注用1800、600(一般名:アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え))＜血液凝固阻止剤＞

- ・添付溶解液ゴム栓変更 ギュム栓の天面の外観、円の直径及び色調が変更
- ・溶解液注入針容器変更 袋包装からブリスター包装に変更
- ・製造番号シール廃止

◎マグコロール散68%分包50g(一般名:クエン酸マグネシウム)＜大腸検査・腹部外科手術前処置用下剤＞

紙コップ及び薬袋の提供終了

★医薬品リスク管理計画(RMP)の活用について

医薬品の安全性の確保を図るためには、開発の段階から市販後に至るまで常にリスクを適正に管理する方策を検討することが重要である。医薬品リスク管理計画(RMP: Risk Management Plan)は、医薬品の開発から市販後まで一貫したリスク管理をひとつの文書に分かり易くまとめ、調査・試験やリスクを低減するための取り組みの進捗に合わせて、または、定期的に確実に評価が行われるようにするものである。また、RMPを公表して、医療関係者の皆様と市販後のリスク管理の内容を広く共有することで、市販後の安全対策の一層の充実強化が図られることが期待される。

本稿では、RMPとは何かを伝えるとともに、RMPにまつわる最近の動きについて紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

*下線部追加改訂

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂(追加)したので内容を紹介する。

◎セマグルチド(遺伝子組換え)(商品名:オゼンピック皮下注 2 mg、リベルサス錠 14 mg、7 mg、3 mg、ウゴービ皮下注 SD0.25 mg、0.5 mg、1.0 mg、1.7 mg、2.4 mg)※ウゴービ皮下注 SD0.5 mg、1.0 mg、1.7 mg、2.4 mg は院外専用医薬品

◎チルゼパチド(商品名:マンジャロ皮下注アテオス 2.5 mg、5 mg、7.5 mg、10 mg、12.5 mg、15 mg)※マンジャロ皮下注アテオス 7.5 mg、10 mg、12.5 mg、15 mg は院外専用医薬品

【合併症・既往歴等のある患者】腹部手術の既往又はイレウスの既往のある患者
腸閉塞を含むイレウスを起こすおそれがある。

【重大な副作用】イレウス
腸閉塞を含むイレウスを起こすおそれがある。高度の便秘、腹部膨満、持続する腹痛、嘔吐等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※ 国内症例: セマグルチド 7例(うち、死亡0例)
チルゼパチド 2例(うち、死亡0例)

◎アフアチニブマレイン酸塩(商品名:ジオトリフ錠 20 mg、30 mg)

◎フルベストラント(商品名:フェソロデックス筋注 250 mg)

【重大な副作用】アナフィラキシー

※ 国内症例: アフアチニブ 3例(うち、死亡0例)
フルベストラント 6例(うち、死亡0例)

◎スニチニブリンゴ酸塩(商品名:スーテントカプセル 12.5 mg)

【重大な副作用】高アンモニア血症
肝機能異常を伴わずに、高アンモニア血症があらわれることがある。意識障害が認められた場合には、血中アンモニア値の測定を考慮すること。

※ 国内症例: 1例(うち、死亡0例)
※ 海外症例: 2例(うち、死亡0例)

◎ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)(商品名:キイトルーダ点滴静注 100mg)

【重大な副作用】血管炎
大型血管炎、中型血管炎、小型血管炎[抗好中球細胞質抗体(ANCA)関連血管炎、IgA血管炎を含む]があらわれることがある。

※ 国内症例: 11例(うち、死亡0例)

※: 医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例のうち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<https://www.pmda.go.jp/>)又は厚生労働省ホームページ(<https://www.mhlw.go.jp/>)から確認可能。

<別紙1>新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計8品目)

2025年10月1日オーダ開始

採用 区分	商 品 名	剤 形	規 格	区 分	薬 価	会 社 名	成 分 ・ 薬 効
1	イオプロスト300注100mL「BYL」721	注	300注 100mL	－	4,132.0	バィエル薬品	Iopromide 非イオン性尿路・血管造影剤 ★造影CT検査における病変の検出と診断 ★・非イオン性尿路・血管造影剤と同分類で、低浸透圧・低粘稠度を有する後発医薬品。 ・既採用のバィアル造影剤と成分が異なることから、他の造影剤副作用歴のある患者での副作用発現リスクを低減できる。 ・3つの国際多施設共同非介入試験統合解析(132,012例)で、安全性に問題はないと考える。 ・院内で稼働中のバィアル専用造影CT用自動注入器を使用することにより、経費節減・検査ワークフロー改善が期待できる。 ・生理食塩液と造影剤の同時注入により、造影剤濃度調整を行うことが出来る。 ※常備医薬品としてイオプロスト370注100mL「BYL」の採用あり 【発売:2011/01/11】
1	グラアルファ配合点眼液131	点眼液	－	－	505.4/mL	興和創薬	Ripasudil Hydrochloride Hydrate/Brimonidine Tartrate 緑内障・高眼圧症治療剤 ★緑内障症例における眼圧下降（特に術後高眼圧症例に対する使用） ★緑内障治療においてはアイアランス上昇が至上の課題。リパズジル+ブリンモジンの配合点眼薬であり、同様の配合薬は存在しない。 緑内障点眼でよく使用されるプロスタグランジン作動薬には炎症惹起作用が、β遮断薬には喘息や不整脈の増悪が副作用として知られており、入院中の使用で想定される術後点眼としては使用しづらい。本剤にはそのいずれも配合されておらず、術後の高眼圧に対する点眼薬として使用しやすい。 ★本院で緑内障手術を施行する患者の多くが他剤使用下にコントロール不良な症例で進行緑内障症例であり、配合薬を使用して強ちに眼圧下降を図ることは患者利益となりうる。それぞれの単剤処方よりも薬価面・アイアランス面でも優れており、薬剤数を減らせることは病棟業務上、看護師の点眼補助回数も減らせることからマンパワーにも利点がある。 【発売:2022/12/06】
1	ツムラ治打撲一方エキス顆粒(医療用)520	顆粒	－	－	8.3/g	ツムラ	漢方製剤 ★効果効能は、「打撲によるはれ及び痛み」である。 上記症状に用いる漢方薬である、打撲にて入院した患者に対し使用するため。 ★現在、治打撲一方は、救急領域、整形外科領域、外科領域、皮膚科領域の打撲患者の腫れや疼痛の軽減目的に使用されるが、院外専用医薬品のため、入院患者に対して使用出来ない状況にあるため。 【発売:1986/10/30】

1	トテムフィア皮下注200mgペン399	皮下注	200mg	劇	339733.0	ヤンセンファーマ	Guselkumab(Genetical Recombination) ヒト型抗IL-23p19モノクローナル抗体製剤 ★IBDの薬物療法の主な目的は、大腸や小腸など腸管の炎症を抑えて症状を鎮め寛解に導くこと(寛解導入)、そして寛解を維持すること(寛解維持)であるが、近年では生物学的製剤の登場など治療の進歩により、新しい治療目標として、症状を鎮めるだけにとどまらない粘膜治癒まで目指した治療が注目されている。どの治療薬を選択するかは、潰瘍性大腸炎の重症度や個々の患者さんの状態や希望を考慮し選択するが、この製剤は中等症から重症の患者さんに対して安全で高い効果を期待し使用している。 ★トテムフィアは、潰瘍性大腸炎・クローン病における中等症～重症の患者に用いられる抗IL-23抗体であり、先行して広く使用されている抗IL12/23抗体製剤ステラーラと同じ完全ヒト型抗体であることから、長期使用時の安全性に優れている。 従来のIL23抗体製剤に比べて薬理作用で特徴的な部分としては、腸管の炎症部位に多く発現するミロイド系細胞(CD64レセプター)に直接結合する特徴を持つことにより、他剤よりも炎症抑制において臨床的アドバンテージに繋がることが期待されている。 加えて、クローン病ではIL12/23抗体製剤では唯一、皮下注製剤による寛解導入が可能であり、これまでの生物学的製剤の多くが点滴静注製剤で場所や時間を要していたため、患者・医療者ともにメリットがある。 更には、従来薬と異なり潰瘍性大腸炎とクローン病で用法用量が同じことで、用量選択によるインシデント回避に繋がる可能性がある。 今後は、本剤が皮下注製剤であることから、自己注射製剤として来院頻度の調整や院外調剤薬局での処方による院内調剤業務の軽減などにも繋がることが期待される。 ※常備医薬品としてトテムフィア皮下注100mgシリンジの採用あり 【発売:2025/05/21】
1	ファセンラ皮下注30mgペン229	皮下注	30mg	劇	351731.0	アストラゼネカ	Benralizumab (Genetical Recombination) ヒト化抗IL-5受容体αモノクローナル抗体製剤 ★気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロール出来ない難治の患者に限る)、既存治療で効果不十分な好酸球性多発血管性肉芽腫症の薬物療法に用いる。 ★現状、好酸球性重症喘息患者の薬物療法として「ファセンラ30 mgシリンジ」製剤を使用している。2025年4月1日に発売された「ファセンラ皮下注 30 mgペン」は針刺し防止機能付きペン型のオートインジェクター製剤ため院内施用の際に簡便性と安全性の向上が見込まれる。 また、既存治療で効果不十分な好酸球性多発血管性肉芽腫症に用いる際には患者の自己投与が可能となり患者の利便性向上も見込まれる。 ※常備医薬品としてファセンラ皮下注 30 mgシリンジの採用あり 【発売:2025/04/01】
1	ブラリアHI皮下注60mgシリンジ0.5mL399	皮下注	60mg	劇	24939.0	第一三共	Denosumab(Genetical Recombination) ヒト型抗RANKLモノクローナル抗体製剤 ★以下の疾患の治療のため。 ○骨粗鬆症 ○関節リウマチに伴う骨びらんの進行抑制 ★ブラリアHI皮下注 60 mgシリンジ 0.5 mLは、従来製剤と比べて液量が半分になり注射時の負担が軽減されるため。また、従来製剤と比べて注射針カバーがラテックスフリーでアレルギーリスクが低減されるため。 ※常備医薬品としてブラリア皮下注 60 mgシリンジの採用あり 【発売:2025/06/13】
1	ラゲブリア錠400mg625	錠	400mg	劇	4329.8	MSD	Molnupiravir 抗ウイルス剤 ★SARS-CoV-2による感染症 ★特例承認が解除されたため常備薬として申請するものである。 【発売:2025/05/01】
1	ランマークHI皮下注120mgシリンジ1.0mL399	皮下注	120mg	劇	44390.0	第一三共	Denosumab(Genetical Recombination) ヒト型抗RANKLモノクローナル抗体製剤 ★以下の疾患の治療のため。 ○多発性骨髄腫による骨病変および固形癌骨転移による骨病変 ○骨巨細胞 ★従来のバイアル製剤と比較して投与時の利便性の向上及び注射液量を少なくしている。 ※常備医薬品としてランマーク皮下注 120 mgの採用あり 【発売:2025/05/21】

④自由診療医薬品(合計1品目)

採用 区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
----------	-----	----	----	----	----	-----	-------

4	コナティ筋注シリンジ12歳以上用 631	筋注	-	劇	-	ファイザー	ウイルスワクチン類 ★65歳以上の高齢者、60歳以上で重症化リスクを有する患者に対してCOVID-19の重症化予防目的に使用する。 ★コロナワクチンであるコナティは65才以上の高齢者、60才以上で基礎疾患を有する患者への定期接種対象となっている。 当院受診中患者前述の患者が多く、多くがコロナワクチンの接種対象となっている。当院通院中の接種希望患者への利便性向上と接種率向上による重症化リスク低減のため当院通院中患者へも接種機会を設ける目的がある。 【発売:2024/09/19】
---	-------------------------	----	---	---	---	-------	--

⑥臨時採用医薬品（合計12品目）

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	イストリサ錠1mg 249	錠	1mg	劇	3,335.9	レコルタティ・レア・ディ ジーズ・ジャパン	Osilodrostat Phosphate 副腎皮質ホルモン合成阻害薬 ★Cushing症候群に対し主病変検索をしつつイストリサ用量調整をおこなって高コルチゾール血症を是正した。 ★メトピロンでは半減期が短く効果が安定しない。 ★安定したコルチゾール抑制と高コルチゾール血症に伴う諸症状の報告がある。 【発売:2021/06/30】
6	イムデトラ点滴静注用 429	点滴静注	10mg	劇	1,326,870.0	アムジェン	Tarlatabam(Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤 ★がん化学療法後に増悪した小細胞肺癌(3次治療以降)に対する治療としては有効な治療が乏しく、本治療は肺癌診療ガイドライン2024で推奨されている(2C)。そのため腫瘍の縮小・延命効果が期待できる。 【発売:2025/04/16】
6			1mg		137,100.0		
6	エプリスティ錠5mg 119	錠	5mg	劇	73,831.9	中外製薬	Risdiplam 脊髄性筋萎縮症治療剤 ★スピリナザ髄注の治療を行っていたが、侵襲性の回避のため、内服薬のエプリスティDSへ切り替え、治療継続中である。錠剤が新しく発売され、錠剤への変更希望がある。 ★同疾患、年齢から、適応として、スピリナザかエプリスティの2剤のみである。 ★体重20kg以上の患者においては、承認用量が5mgの固定用量となる。効果は同等であるが、毎日のディスプレインサーへの吸引作業が不要で、筋力低下による蓋の開けにくさ、および計量による投与量ミスのリスク軽減、室温保存可能などの利点がある。薬価は錠剤の方がやや安くなる。 ※臨時採用医薬品としてエプリスティドライブシロップ60mgの採用あり 【発売:2025/05/21】
6	カルケンス錠100mg 429	錠	100mg	劇	12,921.9	アストラゼネカ株式会社	Acalabrutinib Maleate Hydrate 抗悪性腫瘍剤 ★慢性リンパ性白血病に対してカルケンスカプセルにて加療中である。 ★慢性リンパ性白血病に対する標準治療として当院常備薬にないカルケンスが推奨されており、現在使用中である。 ★カプセル剤よりも内服がしやすい錠剤へ今後移行するため。 ※臨時採用としてカルケンスカプセル100mgの採用あり。 【発売:2025/05/21】
6	ケサナ点滴静注液350mg 119	点滴静注	350mg	劇	66,948.0	日本イーライリリー	Donanemab(Genetical Recombination) アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制剤 ★4週間に1度の投与で治療できる同効薬がない。 ★アルツハイマー病の進行抑制 【発売:2024/11/26】
6	ハイキューヒア10%皮下注セット 634	皮下注	20g/200mL	特生物	221,382.0	武田薬品工業	pH4-Treated Acidic Normal Human Immunoglobulin(Subcutaneous injection), Vorhyaluronidase Alfa(Genetical Recombination) 血漿分画製剤 ★続発性低ガンマグロブリン血症 ★難治性のDLBCLに対してCAR-T細胞療法施行後、正常グロブリンの抑制が顕著でありグロブリンの補充を要する。

6			5g/50mL		56,816.0		既存の治療薬と比較し合併症の軽減、投与頻度の減少が期待できる。 ★無または低ガンマグロブリン血症に伴う重症感染症の発症抑制 【発売:2025/06/12】
6	ビフェルトロ錠100mg 625	錠	100mg	－	2,068.8	MSD	Doravirine 抗ウイルス化学療法剤 ★腎障害を来さない新規薬剤を必要としている。高齢HIV感染者が増加しており、今後必要となる症例増加が見込まれる。 ★ビフェルトロは2020年に承認された非ヌクレオチド系逆転写酵素阻害剤NNRTIで既存のNNRTIの主な耐性変異部位であるK103NおよびY181Cにおける変異の影響を受けにくい構造を有しており、野生型ウイルスおよび主なNNRTI耐性ウイルスにに対して阻害活性を示す。 【発売:2020/02/17】
6	ライフリハント点滴静注 350mg 429	点滴静注	350mg	劇	160,014.0	ヤンセンファーマ	Amivantamab(Genetical Recombination)(JAN) amivantamab 抗悪性腫瘍剤 ★EGFRエクソン20挿入変異陽性非小細胞肺癌に対する治療としては有効な治療が乏しい。本剤は肺癌診療ガイドライン2024で強く推奨されている(1B)。腫瘍の縮小・延命効果が期待できる。 【発売:2024/11/20】
6	ラスクルース錠 429	錠	240mg	－	12,354.7	ヤンセンファーマ	Lazertinib Mesilate Hydrate 抗悪性腫瘍剤 ★EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ★EGFR及び間葉上皮移行因子(MET)を標的とする二重特異性抗体であるライフリハント点滴静注350mgの併用薬として開発が進められた。本剤がEGFRの細胞内活性部位を標的としているのに対し、ライフリハントは、EGFR又はMETシグナル伝達が活性化されたNSCLC細胞のEGFR及びMETの細胞外ドメインに結合し、シグナル伝達阻害、抗体依存性細胞傷害(ADCC)を介して腫瘍増殖抑制作用を示すと考えられる。このことから、本剤をライフリハントと併用することによる相加的な作用が期待される。 【発売:2025/05/21】
6			80mg		4,403.3		

⑦院外専用医薬品（合計15品目）

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	エイペリス点眼液0.002% 131	点眼液	－	劇	800.1/mL	参天製薬	Omidenepag Isopropyl 選択的EP2受容体作動薬 ★初期緑内障に対する加療目的 ★グアラファ配合点眼液採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する。 【発売:2018/11/27】
7	エパテルEMカプセル2g 218	cap	2g	－	112.6	持田製薬	Ethyl Icosapentate EPA製剤 ★脂質異常症の治療に使用。 ★動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版では、脳心血管イベントの予防目的として、高トリグリセリド血症に対するスタチンとの併用投与が推奨されている。(エビデンスレベル:1+, 推奨レベル:A) ★海外では高純度EPA製剤4g/日投与において、心血管イベントの予防効果が確認され(REDUCE-IT試験)4g/日の高純度EPA製剤が日本国内にて使用出来るには、エパテルEMカプセル2gだけである。 ★界面活性剤の作用により、自己乳化することから、胆汁酸がなくても、体内に吸収されるように製剤設計が工夫されている。 ★1日1回の服用のため、服薬アドヒアランスの向上が期待できる。 ※常備医薬品としてイコサペンタ酸エチル粒状カプセル900mg「サワイ」の採用あり 【発売:2022/09/12】
7	ハルバーサ錠 429	錠	3mg	劇	31,810.4	ヤンセンファーマ	Erdaftinib 抗悪性腫瘍剤/FGFR阻害剤 ★がん化学療法後に増悪したFGFR3遺伝子変異又は融合遺伝子を有する根治的切除不能な尿路上皮癌に使用。

7			4mg		41,501.7		★現行、根治的切除不能な尿路上皮癌の一次治療は、パドセフとキイトルーダの併用療法であるが、有効な二次治療は存在せず、バルパーサは適応患者において、有効な薬剤であるため。 【発売:2025/07/16】
7			5mg		51,009.7		
7	ヒルドイトローション0.3% 333	ローション	150g ボトル	－	18.2/g	マルホ	Heparinoid 血行促進・皮膚保湿剤 ★皮脂欠乏症の治療 ★ヒルドイトローションは使用頻度の高い保湿剤であり、全身に外用するにあたっては1回10g以上使用することもある。 連日使用するにあたって、薬剤を手に取りやすいポンプタイプのボトルを希望する患者は多いと考える。 ※常備医薬品としてヘパリン類似物質油性クリーム0.3%「日医工」、ヒルドイトローション0.3%、院外専用医薬品としてヒルドイトソフト軟膏0.3%、ヒルドイトフォーム0.3%の採用あり 【発売:2001/07/09】
7	フシ末(調剤用)「ツムラ」 590	散剤	－	－	12.2/g	ツムラ	Powdered Processed Aconite Root 生薬製剤 ★附子末は、疼痛、冷えの感覚の緩和に使用される生薬である。本剤は調剤用であり、主薬となる漢方製剤に対して、症状に応じて、追加して用いられる。 ★ツムラ治打撲一方エキス顆粒(医療用)採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する。 【発売:2007/07/12】
7	ユリス錠2mg 394	錠	2mg	－	75.6	持田製薬	Dotinurad 選択的尿酸再吸収阻害薬 ★痛風・高尿酸血症の治療に使用 ★ユリス錠の維持用量は2mgであり、2mgないしは最高用量の4mgまで治療が必要な際に、1mg錠の規格だと服用錠数が2錠ないしは4錠必要となり、服薬アドヒアランスの低下が懸念される。2mg錠であれば服用錠数が1錠ないしは2錠で済むことから、服薬アドヒアランスの向上が期待される。 ★薬剤費用も、1mg錠を2錠ないしは4錠服用するよりも、2mg錠1錠ないしは2錠服用する方が負担軽くなる。 ※常備医薬品としてユリス錠1mgの採用あり 【発売:2020/05/25】
7	シクレスト舌下錠10mg 117	舌下錠	10mg	劇	307.0	Meiji Seikaファルマ	Asenapine Maleate 抗精神病剤 ★総合失調症に対する治療薬。 ★統合失調症は人口の約0.7%が罹患する非常に罹患率の高い病気である。本疾患では薬剤の有効用量や副作用を引き起こす用量について個人差が大きく、患者ごとに細かい用量調整を必要としている。 ★本疾患においては患者のアドヒアランス不良が病状悪化を引き起こす重大な問題とされており、臨床では患者のアドヒアランス向上のために患者のライフスタイルも加味しつつ、錠数や剤形を工夫して、様々な規格が使用されている。今回新規採用を申請する薬剤は前述の問題点に対して臨床的に有用な選択肢となる薬剤である。 ※常備医薬品としてシクレスト舌下錠5mgの採用あり 【発売:2016/05/26】
7	ラツーダ錠 117	錠	60mg	劇	295.8	住友ファーマ	Lurasidone Hydrochloride 抗精神病剤 ★総合失調症に対する治療薬。 ★統合失調症は人口の約0.7%が罹患する非常に罹患率の高い病気である。本疾患では薬剤の有効用量や副作用を引き起こす用量について個人差が大きく、患者ごとに細かい用量調整を必要としている。 ★本疾患においては患者のアドヒアランス不良が病状悪化を引き起こす重大な問題とされており、臨床では患者のアドヒアランス向上のために患者のライフスタイルも加味しつつ、錠数や剤形を工夫して、様々な規格が使用されている。今回新規採用を申請する薬剤は前述の問題点に対して臨床的に有用な選択肢となる薬剤である。 ※常備医薬品としてラツーダ錠20mg、院外専用医薬品としてラツーダ錠40mgの採用あり 【発売:2020/06/11】
7			80mg		438.6		

7	ロナセンテール [®] 117	テール [®]	20mg	劇	229.0	住友ファーマ	Blonanserin 抗精神病剤 ★総合失調症に対する治療薬。 ★統合失調症は人口の約0.7%が罹患する非常に罹患率の高い病気である。本疾患では薬剤の有効用量や副作用を引き起こす用量について個人差が大きく、患者ごとに細かい用量調整を必要としている。 ★本疾患においては患者のアドヒアランス不良が病状悪化を引き起こす重大な問題とされており、臨床では患者のアドヒアランス向上のために患者のライフスタイルも加味しつつ、錠数や剤形を工夫して、様々な規格が使用されている。今回新規採用を申請する薬剤は前述の問題点に対して臨床的に有用な選択肢となる薬剤である。 ※常備医薬品としてロナセンテール [®] 40mgの採用あり 【発売:2019/09/10】
7			30mg		332.5		
7	インヴェカ [®] 錠9mg 117	錠	9mg	劇	528.9	ヤンセンファーマ	Paliperidone 抗精神病剤 ★総合失調症に対する治療薬。 ★統合失調症は人口の約0.7%が罹患する非常に罹患率の高い病気である。本疾患では薬剤の有効用量や副作用を引き起こす用量について個人差が大きく、患者ごとに細かい用量調整を必要としている。 ★本疾患においては患者のアドヒアランス不良が病状悪化を引き起こす重大な問題とされており、臨床では患者のアドヒアランス向上のために患者のライフスタイルも加味しつつ、錠数や剤形を工夫して、様々な規格が使用されている。今回新規採用を申請する薬剤は前述の問題点に対して臨床的に有用な選択肢となる薬剤である。 ※常備医薬品としてインヴェカ [®] 錠3mg、院外専用医薬品としてインヴェカ [®] 錠6mgの採用あり 【発売:2011/01/17】
7	ヒフレツ徐放錠150mg 117	徐放錠	150mg	劇	131.3	共和薬品工業	Quetiapine Fumarate 双極性障害のうつ症状治療薬 ★総合失調症に対する治療薬。 ★統合失調症は人口の約0.7%が罹患する非常に罹患率の高い病気である。本疾患では薬剤の有効用量や副作用を引き起こす用量について個人差が大きく、患者ごとに細かい用量調整を必要としている。 ★本疾患においては患者のアドヒアランス不良が病状悪化を引き起こす重大な問題とされており、臨床では患者のアドヒアランス向上のために患者のライフスタイルも加味しつつ、錠数や剤形を工夫して、様々な規格が使用されている。今回新規採用を申請する薬剤は前述の問題点に対して臨床的に有用な選択肢となる薬剤である。 ※常備医薬品としてヒフレツ徐放錠50mgの採用あり 【発売:2017/10/27】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計3品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削 除 理 由
1	イオパミロン注150 200mL	注	200mL	-	イオパミロン [®] 300注100mL「BYL」採用の場合、削除
1	ステラール点滴静注130mg	点滴静注	130mg	-	トレムフィア皮下注200mg [®] 採用の場合、削除
1	ファーストン静注用1g	静注	1g	-	ラケブリア錠400mg採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。
ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計10品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削 除 理 由
1	エイペリス点眼液0.002%	点眼液	-	劇	グアラルフア配合点眼液採用のため、区分7へ移行
6	カルケンスカプセル100mg	cap	100mg	劇	カルケンス錠100mg採用のため、削除
1	ツムラのブシ末	散	-	-	ツムラ治打撲一方エキス顆粒(医療用)採用のため、区分7へ移行
1	ファセンラ皮下注 30 mgシリンジ	皮下注	30mg	劇	ファセンラ皮下注 30 mg [®] 採用のため、削除
1	ブラリア皮下注 60 mgシリンジ	皮下注	60mg	劇	ブラリアHI皮下注60mgシリンジ [®] 0.5mL採用のため、削除
1	ランマーク皮下注 120 mg	皮下注	120mg	劇	ランマークHI皮下注120mgシリンジ [®] 1.0mL採用のため、削除

1	アイリーア8mg	硝子体内注射液	114.3mg/mL	劇	アイリーア8mg硝子体内注射液用キット114.3mg/mL採用ため、削除
1	大塚糖液	輸液	70% 350mL	-	キトパレン輸液採用のため、削除
1	ニコペリック(排液用バッグ付)	腹膜透析液	1.5L	-	テフタック点滴静注用40mg採用のため、削除
1	ハビースモ	硝子体内注射液	120mg/mL	劇	ハビースモ硝子体内注射液用キット120mg/mL採用のため、削除

【4】報告事項

1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

①緊急使用医薬品(合計10品目)

採用 区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	アセレント [®] 注100μg 322	注	100μg	劇	1,646.0	藤本製薬	Sodium Selenite 低セレン血症治療剤 ★血中セレン濃度が低値であり、セレン含有の栄養剤(フイクルス)の服用を開始した上で再検したが血中セレン濃度は測定感度未満と改善を認めなかった。人工肛門造設していることにより人工肛門以下の下部小腸からの栄養吸収が出来ない事が影響している可能性があり、経静脈的投与が必要と考えられる。 ★セレンを含有した経腸栄養剤を使用しても効果が乏しく、点滴による補充が望ましいと考えられるため。 ★セレン欠乏の改善により、心筋症等の重篤な合併症を未然に回避することが出来ると考えられる。 【発売:2019/06/06】
11	イストリサ錠1mg 249	錠	1mg	劇	3,335.9	レコルダ [®] ティ・レア [®] ・ティ ジース [®] ・ジャパン	Osilodrostat Phosphate 副腎皮質ホルモン合成阻害剤 ※臨時採用医薬品として申請あり 【発売:2021/06/30】
11	エクストラニール腹膜透析液 1.5L1袋(排液用バッグ付) 342	腹膜透 析液	1.5L	-	2,027.0	ウァンティブ [®]	腹膜透析用剤 ★他院処方 ^① の透析液を持参してこられたが、当院採用のUVツイン バッグと接続部分が異なる為、透析機器と互換性がない。 ★接続部交換による患者へ侵襲無く、継続して腹膜透析が可能 である。【発売:2003/06/16】
11	フリウエル配合錠ULD「モチダ」	錠	-	-	63.3	持田製薬	Norethisterone/Ethinylestradiol 月経困難症治療剤 ★月経困難症に対して通院中であり、約3年前からフリウエルを定期 内服されていた。 ★当院採用代替薬がないため 【発売:2018/12/14】
11	ケサナ点滴静注液350mg 119	点滴静 注	350mg	劇	66,948.0	日本イーライリリー	Donanemab(Genetical Recombination) アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑 制剤 ※臨時採用医薬品として申請あり 【発売:2024/11/26】
11	コンサータ錠 117	錠	18mg	劇 向	235.8	ヤンセンファーマ	Methylphenidate Hydrochloride 中枢神経刺激剤 ★院外処方 ^① で処方されていた患者が入院してこられた。院内採 用薬で代替となるものがないため。 【発売:2007/12/01】
11			27mg		261.9		
11	ビフェルトロ錠100mg 625	錠	100mg	-	2,068.8	MSD	Doravirine 抗ウイルス化学療法剤 ※臨時採用医薬品として申請あり 【発売:2020/02/17】
11	ランプレнка [®] セル50mg 623	cap	50mg	-	168.6	サント [®]	Clofazimine 抗ハンセン病剤 ※臨時採用医薬品として申請あり 【発売:1996/12/09】
11	レギニールHCa1.5腹膜透 析液 1.5L1袋(排液用バッ グ付) 342	腹膜透 析液	1.5L	-	1,283.0	ウァンティブ [®]	腹膜透析用剤 ★他院処方 ^① の透析液を持参してこられたが、当院採用のUVツイン バッグと接続部分が異なる為、透析機器と互換性がない。 ★接続部交換による患者へ侵襲無く、継続して腹膜透析が可能 である。 【発売:2014/02/14】

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)供給停止に伴う代替薬の一時採用について			
供給停止	代替薬		
ｼﾞｸﾞｽLX点眼液3%(770.5円)	→	ｼﾞｸﾞｽ点眼液3%(343.5円)(院外処方に限る)	2025年8月21日切替済
3)供給停止に伴うオーダー一時停止について			
ﾎﾟﾘﾌｨﾙ錠500mg(9.4円)	→	2025年7月22日処方オーダー停止	
ﾎﾟﾘﾌｨﾙ細粒83.3%(14.9円/g)			
ｴﾘｽﾛｼﾝ錠100mg(6.1円)	→	2025年7月22日処方オーダー停止	
ﾛｷｿﾆﾝｹﾞﾙ1%(2.6円/g)	→	2025年8月8日処方オーダー停止	
4)供給停止解除に伴う処方オーダー再開について			
2025年1月8日処方オーダー一時停止	→	ｿﾙ・ｺｰﾃﾌ注射用100mg(264.0円)	2025年3月11日処方オーダー再開
5)「ナファモスタットメシル酸塩注射用50mg」2銘柄併存終了について			
ナファモスタットメシル酸塩注射用50mg「AY」	→	すべての病棟および診療科	2025年8月22日処方オーダー再開
ナファモスタットメシル酸塩注射用50mg「NIG」			2025年8月22日処方オーダー停止
6)特例承認医薬品のオーダー停止について			
ﾗｹﾞﾌﾞﾘｵｶﾌﾟｾﾙ200mg	→	2025年9月5日処方オーダー停止	

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)